

## 西区子ども会連合会



会 長  
佐 藤 和 弘

## 神戸市 Kobe City



区のあらまし  
面積：138.01km<sup>2</sup>  
人口：241,813人  
区の花：なでしこ

西区は昭和57年垂水区から分区して誕生しました。産業は農業が中心でしたが、近年では工業団地などの開発が進み、先端分野の工場の進出が相次ぎ、工業が産業を占める割合が大きくなっています。また史跡も多く「鬼追い」「獅子舞」などの伝統芸能も数多く伝承されています。

神戸市子ども会連合会発足55周年おめでとうございます。

神戸市子ども会連合会の発展隆昌は、先輩諸氏のなみなみならぬご尽力と、子ども会指導者、育成者はじめ、関係機関、関係団体のみなさまから子ども会活動の活性化や子ども達の健全育成のために、深いご理解と多大なご協力をいただいた賜物と、心から厚く感謝申し上げます。

近年少子化社会や人間関係の希薄化などは、子ども達に大きな影響を与えております。子ども会は、会員の減少と、活力の低下を招いています。

この様な中で、遊びを通じて集団活動を行う子ども会の役割は、ますます増大していると言えます。子ども会活動の意義はますます高まって行きます。西区子ども会連合会は、単位子ども会の活性化をはかり、子ども達の健全育成に尽力したいと考えています。

指導者、育成者の方々は勿論、会員父兄の皆様、地域社会をあげて協力いただきますようお願い申し上げます。今後ますます子ども会活動が発展されますことを祈念いたします。

### ◆西区子ども会連合会のおいたち

西区は、神戸市の最西端に位置し、明石市、三木市、加古郡稲美町と隣接している。農村地域を中心に、緑豊かな田園風景や、神社仏閣など歴史ある観光資源が数多く残る一方、ニュータウンや工業団地、学園都市を中心に6大学1高専が立地している。現在では、人口25万人超をかかえて、市内最大の人口を数えるまでに至り、『住み、働き、学び、憩う』をバランスよく備えたまちづくりが進められている。

昭和57年8月1日に垂水区より分区、子ども会も垂水区から分かれ、西区子ども会連合会は81単位子ども会で発足、今年度で36周年を迎えています。

現在単位子ども会数54単位になっています。広範囲な地域のために、行事の実施には苦慮しています。

## 西 区

### ◆ 過去5年間の西区子ども会連合会基本データ

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
単位子ども会数	60	58	57	56	52
会員数および 育成者・指導者数	3,452	2,918	2,985	2,747	2,608
区の小中学生数	22,128	21,927	21,614	21,227	20,823

### ◆ 単位子ども会一覧

単位子ども会名	校区・地域	単位子ども会名	校区・地域	単位子ども会	校区・地域
アーサヒルズ	西神	上 津 橋	平野	広谷	神出
赤 坂	岩岡	上 村	神出	福住北山	押部谷
秋 田	岩岡	神 出 北	神出	福谷	樋谷
ア ミ テ イ	西神南	グリーンヒル南	玉津	福吉台	岩岡
伊川谷高層なかよし	伊川	高 津 橋 西	玉津	二ツ屋1丁目	玉津
池 下	神出	高 津 橋 東	玉津	ふれあい中野1丁目	玉津
池 田 水 玉	神出	小 東 野	神出	ふれあい中野2丁目	玉津
居 住 B 地 区	玉津	桜 が 丘	押部谷	まつぼっくり	樋谷
な か よ し	西神南	桜が丘スポーツ	押部谷	美賀多台3丁目	西神
今津なかよし	玉津	下 北 古 神 納	神出	美賀多台4丁目	西神
印 路	平野	新 々 田	神出	水谷	玉津
ヴァンヴェールK2	西神	す っ ぽ ん	岩岡	みどり	岩岡
エクセルシティ西神中央	西神	西神レッドホークスなかよし	押部谷	南古	岩岡
枝 吉	玉津	田 井	神出	南陽	岩岡
枝 吉 1 丁 目	玉津	竹 の 子	樋谷	南別府	伊川谷
エトワールコート西神中央	西神	玉 津 民 踊	玉津	美穂が丘東	押部谷
エルシー糞台I	西神	つ く し	岩岡	宮下	玉津
エルシー美賀多台	西神	出 合	玉津	持子	玉津
老 の 口	神出	出 合 県 住	玉津	養田	押部谷
王 塚 台	玉津	中 村	平野	吉生仲よし	神出町
大 沢	岩岡	南 陽 台	伊川谷	竜が岡	岩岡
大 野 慶 明	平野	西 河 原	玉津	和田	押部谷
檜野台1丁目	西神	西 戸 田	平野	南下	神出
檜野台3丁目	西神	西 脇	岩岡	モンセーヌ西神南	西神南
上 北 古	神出	ネオコーポ明舞壺番缶	伊川谷	西神中央パークホームズ	西神中央
上 新 地	岩岡	東	神出	春日台キッズクラブ	西神中央
上新地わかば	岩岡	広 古	岩岡		

## ◆西区子ども会連合会の概要

単位子ども会54単位、会員数2,100余名で構成している。

近年少子社会の影響で、平成11年度単位子ども会139単位が年々減少し現在に至っています。農村地域、西神ニュータウンも存在し、地域が広い為、行事の参加率も低下傾向にあります。『単位子ども会活動の活性化、子ども達の健全育成』をスローガンに、役員、指導者、育成者が一致団結して取り組んでいます。

お陰さまで、平成24年度には、設立30周年記念を迎えました。



キンボール体験

## ◆年間の主な活動

### I 具体的な活動

#### ①子ども会会員の親睦や健康増進の開催

- (1) キンボール体験 (平成30年で14回目)
- (2) ダブルダッチ(縄跳び) (平成30年で12回目)
- (3) 親子クリーン作戦 毎年開催(平成30年で36回目)

これらの行事は、異年齢児童が集団活動を通じて、仲間づくり、親子のふれあい、地域の人々とのふれあいなど楽しい思い出づくりになればと考えて企画しています。子ども達と父兄の参加が、盛り上がりのある内容になっています。

#### ②子ども会のサブリーダー、指導者、育成者の養成を推進する研修会開催

- (1) サブリーダーの養成 市子連主催 3回/年開催参加

単位子ども会の活性化の手段として、サブリーダーの養成は不可欠である。

サブリーダーを単位子ども会の中核と位置づけ、活動してもらえる様に育成していく狙いをもっている。

\*平成21年度より神戸市子ども会連合会主催のサブリーダー研修に参加している。

- 1) ゲーム指導
- 2) ルール、マナーの修得
- 3) 社会見学 会社施設の見学等で知識を修得させる
- 4) 野外キャンプ
- 5) チアガール育成(1年生～6年生)

西区子ども会連合会発足により現在に至っている。今年度は24数名で活動している。神戸まつり、健康福祉フェア、西区子ども会開催行事に参加している。

プロ講師による熱血指導で上達してきている。

- 6) 体験学習 さつま芋栽培、収穫、地下鉄西神中央駅付近の清掃

#### (2)安全対策行事の開催

- 1) 危険予知(K、Y、T)講習
- 2) 上手なナイフの使い方 竹細工など通じてナイフの使い方を修得させる。
- 3) ロープの上手な結び方

## 西 区

### (3) 指導者、育成者研修会

- 1) 危険予知(K、Y、T)講習会
- 2) 人工呼吸法
- 3) 止血法
- 4) 骨折の応急処置法

### ③協賛行事の参加

子ども達の育成は、地域社会と連携を持ちながら推進していかなければなりません。そのためにも、各種団体の行事に積極的に参加して、西区子ども会連合会の存在を強く、アピールしていかなければなりません。

- 1) 西区神戸まつり
- 2) 西区健康・福祉フェア
- 3) 校区納涼まつり

などのイベントには模擬店の出店、チアガール出演など参加しています。

### ④神戸市子ども会連合会の行事参加、各部会活動に参画しています。

## II 西区子ども会連合会専門部会の活動

### ◆育成指導部

サブリーダーの育成指導、各種研修会、社会見学

### ◆体育部

スポーツ関係の企画、実施

### ◆文化広報部

広報誌の発行、記録写真の管理、凧づくり教室の開催(毎年)

### ◆安全対策部

安全対策に関する活動

### ◆役員会

行事の企画、運営などについて協議決定。15回/年間

## クリーンハイキング



芋掘り



工作教室

## 神戸市子ども会連合会 専門部会

神戸市子ども会連合会では、様々な行事の運営や活動を実際に行うために、次のような「専門部会」を設けて、活動を行っています。専門部会の部員、委員は、各区から選出された市子連理事などで構成されています。

神戸市子ども会連合会の活動には、各専門部会が主体となって行うものや、神戸市子ども会連合会全体として取り組むもの、特別の実行委員会を作って行うものなどがありますが、いずれの場合にも各専門部会の連携・協力が重要な市子連活動の原動力となっています。

神戸市子ども会連合会として、現在、次の五つの専門部会を設けています。

### 1 「育成部会」

子ども会活動の運営を担う育成者・指導者やリーダー育成・研修事業を実施。

- ・アドベンチャークルーズ  
平成 29 年度からはサブリーダー研修  
(小4～中3のサブリーダーの養成研修)
- ・リーダー養成  
(高校生以上の登録リーダー)
- ・育成者・指導者研修

### 2 「広報部会」

子ども会会員と社会一般に向けての子ども会広報事業の実施。

- ・定期的に広報誌・機関紙を発行
- ・神戸市子ども会連合会ホームページの運営その他、学校等への広報活動)

### 3 「体育部会」

体育行事やその関連事業を実施

- ・ドッジビー大会
- ・キンボール大会

### 4 「文化部会」

文化行事の主催・関連事業の実施。

- ・歴史ウォーク
- ・絵画コンクールなど

### 5 「リーダー部」平成 30 年度～

子どもや親子の「遊び体験」のサポート。  
アウトドアや遊びイベントの企画・運営(参加)。

サブ・リーダーとジュニア・リーダーの育成。  
全国および指定都市の子ども会の仲間たちとの交流。

その他自主活動などを通じて、子ども会活動の活性化に寄与しています。

以上の五つの専門部会のほか、専門部会に準じた部会・委員会として、次のものがあります。

### 6 「リーダー育成プロジェクト」

平成 20 年度～平成 29 年度まで

ジュニアリーダー・リーダーの育成を強化する事業を実施しています。また、月1回のリーダー会議を受けて、リーダーがより活動しやすくなるよう支援しています。

その他、神戸市子ども会連合会全体としての重要テーマがあるときは、その都度、実施のための実行委員会を設けています。

こうした専門部会の活動が、各区子連活動、各校区や単位の子どもの会の活動と連携して、事業実施を支えています。

# 神戸市子ども会連合会 専門部会活動報告

## 育成部会

育成部長 堤 貴美子

### 育成部事業として

年3回にわたって、サブリーダー研修を行っています。この研修を受けて中学生となり、神戸市子連のジュニアリーダーに育ってもらえるようにとの思いで取り組んでいます。参加人数の加減により、最近では5・6年生のみの参加申込みで行うようになりました。

なお、育成者研修会、親子研修会なども以前は行っていましたが、参加申込者が少ないため、最近は行っていません。

### 〈サブリーダー研修〉

#### 第1回目

☆リーダーとは、どんなことをするのか。ジュニアリーダーがどんなものなのか。

リーダー部の方やジュニアリーダーから話を聞きます。それを踏まえて、サブリーダー研修の目的や心構え等を理解してもらるように説明。次に、各班の班長さんを決めてもらい、班ごとで、知らないもの同士が仲間にな

るためのコミュニケーションの取り方を、ジュニアリーダー指揮のもと、ゲームを交えながら行う。出来るだけたくさんの人と話ができるように工夫をしてもらいます。

#### 第2回目

##### ☆1泊2日のキャンプ

第1回目の班分けの中で、だれもが何かの役割を持ってもらい2日間を過ごします。ジュニアリーダーのお姉さんやお兄さんについてもらい、活動を共にします。約束は、仲間外れを作らずに仲良く行動すること、そして新しい友達を作ること。それぞれが与えられた役割の仕事をこなし、協力しながら2日間を過ごします。

#### 第3回目

☆2回の活動を通して築いてきた友達の輪を最後の力として、協力して何かをしようと考えました。

マイ弁当作り、室内運動会、しあわせの村・デイキャンプでカレー作りなど、毎回工夫を凝らして、子供たちの心に残る活動になり、ジュニアリーダーへと繋がってくれることを願いながら取り組んでいます。

年 度	日 付	内 容	場 所
平成 26年度	6月22日(日)	自然を感じよう!	神戸市森林植物園
	9月13日(土)・14日(日)	みんなでキャンプ!	県立兔和野高原野外教育センター
	3月1日(日)	マイお弁当作りにチャレンジ!	こべっこランド料理教室
平成 27年度	6月21日(日)	防災体験	兵庫県広域防災センター
	9月19日(土)・20日(日)	みんなでキャンプ!	県立西はりま天文台
	3月5日(土)	マイお弁当作りにチャレンジ!	こべっこランド料理教室
平成 28年度	6月19日(日)	オリエンテーション	こべっこランド
	9月10日(土)・11日(日)	キャンプ	嬉野台生涯教育センター
	3月4日(土)	デイキャンプ	しあわせの村
平成 29年度	6月18日(日)	オリエンテーション	こべっこランド
	9月9日(土)・10日(日)	キャンプ	六甲フィールドアスレチック・六甲YMCA
	3月4日(日)	体験学習	神戸市婦人会館
平成 30年度	6月17日(日)	オリエンテーション・軽スポーツ	こべっこホール
	9月16日(日)・17日(月・祝)	キャンプ	国立淡路青少年交流の家
	3月3日(日)	デイキャンプ	しあわせの村

## 広報部会

### 広報部長 齋 木 賢 一

1. 広報部会では、子ども会の行事や運営について内外に発信する広報事業を行っています。

広報誌の発行は、事業企画・編集計画から、取材・撮影・原稿執筆・編集・レイアウト・校正・印刷・発行まで、部員みんなで分担し、成果を持ち寄り、楽しく話し合っって編集活動を進めています。

そうした意味で、広報部は、広報誌発行の手順などの勉強ができるだけでなく、取材活動を通じて、市子連などの動きの全体を見ることができる活動をしているのです。

広報誌発行について、よりタイムリーな行事ニュースの提供を狙いとして、平成24年4月から広報誌の発行回数を年2回から3回に増やし、4月発行の「べっこちゃんかわら版」を加えることにより、年度末行事の広報が漏れたり翌年度行事のお知らせが遅れるのを防ぐようタイムリーなサイクルで発行できるようになりました。また、紙面をA4版で統一したり、全面的カラー刷り化など、わかりやすく楽しい広報誌づくりを心がけています。

その他、5周年ごとの記念誌の発行や、市子連の年間行事の報告作成などについて、印刷物・ホームページなどSNSの活用・各種大規模イベントの活用・パワーポイントによる表彰式式典での報告・チラシの活用など、以下のような活動をしています。

今後は、これらの活動により、より効果的な広報活動を模索し、内部向け広報に終わることなく、一般社会に対する子ども会の社会的認識を拡大し、未加入層に対しても、子ども会の良さや必要性をアピールし、行政・マスコミ・各地域との連携を深めて、子ども会のさらなる発展に役立ちたいと思います。

#### 2. 広報誌の発行

神戸市子ども会連合会の機関紙として、年3回、次の広報誌を編集発行しています。

(1)「こうべっこだより」(毎年10月発行・A4版4ページ) 年度前半の行事等をお知らせしています。

(2)「こうべの子ども会」(毎年1月発行・A4版4ページ) 年度後半、9月から12月までの行事等を掲載しています。

(3)「べっこちゃんかわら版」(毎年4月発行・A4版2ページ) 12月から年度末までの行事や、翌年度の市子連行事などのお知らせを掲載しています。

広報誌の配布先について、子ども会未加入児童保護者の目にもとまるよう、大規模イベントでの配布のほか、学校や児童館への配布についても、積極的に協力を求めています。

#### 3. 記念誌等の発行

これは広報部だけではなく、市子連全体の事業ですが、市子連の歩みを後世に残すため、これまでも1952年の市子連結成より40周年・45周年・50周年ごとに記念誌「あじさい」を編集発行してきました。この度、この市子連55周年記念誌「あじさい」の発行についても、広報部も中心となって、ここに市子連全体の事業として完成させることができました。

#### 4. ホームページの掲載などSNSの活用

行事計画案内や事業報告をタイムリーに周知するためには、紙ベースでの作成・配布では限界があるため、今後は、受け手側の状況も見ながら、各種SNSの活用を積極的に図っていくことが時代の要請でもあります。

現在はホームページの作成・更新を市子連事務局の協力を得て行っています。写真の掲載など、悪用されたりプライバシーの侵害を受けないよう、掲載内容には取材時から注意を払っています。

#### 5. その他

- ・チラシ・ポスターなどの活用、配布先の拡大
- ・年間行事報告パワーポイントの作成、表彰式式典での報告
- ・メールマガジンの活用
- ・学校や児童館との広報連携、子ども会結成促進、加入促進
- ・その他、子ども会の結成促進活動、加入促進活動
- ・広報のための取材・撮影・原稿作成・編集の技術についての研修。各区広報編集の支援。
- ・市子連マスコットキャラクター「べっこちゃん」の活用・普及
- ・マスコミ・行政広報・地域広報との連携活動など

## 体育部会

### 体育部長 柴田文男

神戸市子ども会連合会では、専門部の一つとして体育部があります。

神戸市子連の体育、スポーツ行事の企画から実行まで担当しているセクションで、メンバーは常任理事1名、部員は各区から1名の合計10名からなっています。

現在実施しているのは、昨年に第20回ドッジボール記念大会を行いました。少人数の子ども会員単位が多くなり、今年はニュースポーツを取り入れ、第1回ドッジビー大会を実施する運びとなりました。個人参加を募集し、一人でも参加できる楽しみ、スピード感を体感していただきたいと思います。

もう一つは、第6回キンボール大会を実施しました。低学年・高学年（各々男女混合チーム）の二つのトーナメントを行いました。

少子化による子どもの減少やサッカーなど他のスポーツへの関心の多様化・地域社会の希薄化等による指導者の減少などの要因が重なり、多人数のチーム編成のスポーツができなくなっており、現在、ドッジビー大会は個人参加、キンボール大会は個人または4名編成と、少人数でできる競技とならざるを得ないのが実状です。

市子連では、スポーツ行事にリーダーの積極的な登用を図り、できるだけ子どもたちの目線に近い所での運営ができるよう心がけています。

担当してくれるリーダーたちは、他の多くの成人指導者と共に活躍しています。一人からでも参加できるスポーツへの期待も高まっている中で、スタッフで頑張ってくれています。

これからも、子ども会を取り巻く状況は決して楽観できませんが、子ども会の本文である「子どもが主役」の体育行事に少しでも近づけるよう、また多くの子どもたちに参加してもらい、楽しんでもらえるよう、創意工夫を重ねてまいりたいと思います。



ドッジビー大会



キンボール大会



## 文化部会

### 文化部長 小池 茂晴

文化部会では、文化活動の企画・運営を行っています。

#### 〈歴史ウォーク〉

神戸市内の名所旧跡を子どもたちとその保護者で巡っています。当初は名所や歴史的ポイントで文化部員が語り部を行っていましたが、最近では、リーダーがその役割を担っているの、子ども達も親近感が持てて楽しそうです。

##### (目的とねらい)

神戸各地域の名所旧跡を散策し、解説を聞きながら参加者全員が神戸の歴史を通して友達や、親子で語り合いより一層、神戸の良さを再確認して今まで以上に愛着をもってもらう。また、リーダー、ジュニアリーダーに語り部として神戸の歴史を勉強し、自身が調べ伝えたい事を参加者の前で発表出来る力を養ってもらう。

#### ◆歴史ウォーク

回数	年度・月	場 所 ・ コ ー ス
1	H26.6	魚崎駅～東求女塚古墳～白鶴酒造資料館～処女塚古墳～沢の井
2	H27.5	須磨浦公園～敦盛塚～網敷天満宮～須磨寺～離宮公園
3	H28.6	JR 舞子駅～橋の科学館～旧孫文記念館～旧武藤山治邸～五色塚古墳)～遊女塚～海神社～垂水勤労市民センター
4	H29.6	JR 塩屋駅～旧グッケンハイム邸～共同水道跡～塩谷若宮神社～ライオン石像～旧ジェームス邸～東垂水会館
5	H30.6	阪神石屋川→処女塚古墳→こうべ甲南→若宮八幡宮→水車のモニュメント→沢の鶴資料館→求女塚西公園→神戸文学館→王子動物園

##### (まとめ)

文化部の活動で港町、山、神戸の素晴らしい街と歴史を子ども会を通じて幅広く知って子ども会活動に理解を頂き、多くの子どもたち、父兄の子ども会への参加を促したいです。主な活動では、許される限り神戸市子ども会のPRを兼ね、リーダーを全面に出して活動しています。

#### 〈絵画コンクール〉

毎年、様々なテーマを決めて作品を募集しています。平成29年度は、神戸港開港150周年という事で、中突堤かもめりあ付近で写生大会を行いました。残念な事に雨天のため参加者が少なかったですが、力作がたくさん描かれました。今後も機会があれば是非写生大会も行いたいです。

##### (目的とねらい)

各地域の子ども達自身の住む海・山・街の風景、文化等を絵画をすることにより自身の地域をより深く知り、自然の良さ、地域の文化に愛着を持つ。

##### (内容テーマ)

年度	テ ー マ
H26	海に見える風景
H27	はたらく人
H28	未来のまち
H29	みなと
H30	好きなスポーツ

## リーダー部

リーダー部長 森 口 岳 洋

### 1. 「ゼロという恐怖」

市子連結成 55 周年、おめでとうございます。  
平成 30 年 5 月 27 日の理事会をもちまして、  
10 年近く休止していた「リーダー部」は活動を再開しました。

リーダー部復活の際、常任理事や理事の方々から、こんな話をうかがいました。昔は子ども会というと、特に中高生の友達同士で子ども会の話を出すと「あんたまだ子ども会とかやってんの!？」というような、中高生にもなって子ども会活動しているのは変というか何と云うか、マイナスなイメージがあったのだそうです。

ところが、いま私が同じ話をすると、「子ども会?何それ?」という、イメージはプラスでもなくマイナスでもなく、「ゼロ」でした。

現在、子ども達には、学校外の活動として、学習塾やさまざまな習い事など、選択肢は幅広くあります。ですが、子ども会活動は、その選択肢の中にすらないのです。そもそも子ども会自体を知らないという人が多いのです。この「認知度の低さ」は、おそらくこれからの 5 年間も神戸市子連の課題になると思います。どのように子ども会の認知度をあげるか、子ども会への加入を促進するか、各々試行錯誤されてきたと思いますが、リーダー部でも何か方策はないか、今後も引き続き考えていきたいと思っています。

### 2. ジュニア・リーダー—これまでの流れ

平成 21 年 5 月 リーダー育成プロジェクト設立  
平成 26 年 4 月 ジュニア・リーダー継続  
制度一新（継続通知の新  
規導入）  
平成 28 年 10 月 全子連監修「Step Up for  
Junior Leader's」の研修を  
開始（現在初級取得者  
4 名）  
平成 30 年 5 月 神戸市子連リーダー部  
活動再開  
平成 30 年 6 月 リーダー育成プロジェクト  
の解散

### 3. リーダー育成プロジェクトの活動

(平成 26 年～ 30 年 6 月)

- ・プロジェクト会議
- ・常任理事会出席、ジュニア・リーダー活動報告
- ・Step Up for Junior Leader's の研修（以下 Step Up 研修）の企画・実施
- ・各部からの派遣依頼取りまとめ
- ・各部派遣行事のジュニア・リーダー統括
- ・ジュニア・リーダー会議への助言

### 4. リーダー部の活動について

- ・定例会（月 1 回、第 1 日曜日に開催）
- ・派遣活動（体育部・育成部等各部会から）
- ・研修活動（Step Up 研修、但しリーダー育成プロジェクト解散まで）
- ・指定都市子ども会 J L 大会に参加（相模原大会）

### 5. これからの活動について

- ・指定都市子ども会 J L 大会神戸大会に向けて
- ①ジュニア・リーダーのスキルアップ
- ②シニアリーダーも含む新規ジュニア・リーダーの募集拡大
- ③実行委員会の立ち上げ
- ④市子連以外の研修への積極的参加
- ①では主に O J T (On the Job Teaching) により行う Step Up 研修や、安全啓発活動における K Y T 研修等を行う。
- ②では、5 年前と同様、私立中学・高校以外にも募集チラシの配布・設置を目指し、ジュニア・リーダー、子ども会自体の知名度の上昇を図る。